規則名	理由	要旨
規則 名 奈良県教育職員免許状再授与審査会規則	理 教育職員等による児童生 徒性暴力等の防止等に関する法律施行規則(令和四年 文部科学省令第五号)第六 条の規定に基づき、奈良県 教育職員免許状再授与審査 会(以下「審査会」という。)の組織及び運営に関し 必要な事項を定めるものと する。	要 旨 1 奈良県教育職員免許状再授与審査会の組織及び運営に関し必要な事項を定める。 審査会の組織に関すること 委員の構成等に関すること 会議の運営に関すること 審査会の庶務に関すること等 2 施行期日 令和7年4月1日から施行する。

奈良県教育職員免許状再授与審査会規則(案)

(趣旨)

第一条 この 奈良県教育職員免許状再授与審査会 則(令和四年文部科学省令第五号。 し必要な事項を定めるものとする。 規則 は、 教育職員等によ 以下 る児童生徒性暴力等の防止等に関する法律施行規 (以下「審査会」という。 「省令」という。)第六条の規定に基づき、 の組織及び運営に関

(組織)

第二条 審査会は、委員五人以内で組織する。

- 者として、 委員は、 次の各号のいずれかに該当する者のうちから教育委員会が任命する。 省令第三条第一項に規定する児童生徒性暴力等に関する学識経験を有する
- 一医療、 心理、 福祉又は法律に関する専門的な知識及び経験を有する者
- 二 その他教育委員会が適当と認める者

(会議)

第三条 審査会の会議は、会長が招集する。

- 委員は、自己の利害に関係する議事に参与することができな
- 3 審査会の会議は、公開しない。

(委員以外の者の出席)

第四条 会長は、 必要があると認めるときは、 会議に関係者の出席を求め、 その意見を

聴くことができる。

(秘密の保持)

第五条 委員は、 職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。 その職を退い た後も同様

とする。

(庶務)

第六条 審査会の庶務は、 教育委員会事務局におい て処理する。

(雑則)

第七条 この規則に定めるも \mathcal{O} \mathcal{O} ほ か、 審査会の運営に関 し必要な事項は、 会長が審査

会に諮って定める。

附則

この規則は、令和七年四月一日から施行する。

奈良県教育職員免許状再授与審査会規則をここに公布する。

令和七年〇月〇日

奈良県教育委員会教育長 大 石 健 一

奈良県教育委員会規則第 号

奈良県教育職員免許状再授与審査会規則(案)

(趣旨)

第一条 則 奈良県教育職員免許状再授与審査会 し必要な事項を定めるものとする。 (令和四年文部科学省令第五号。 この規則は、 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律施行規 以下 (以下 「省令」 「審査会」という。 という。 第六条の規定に基づき、 の組織及び運営に関

(組織)

第二条 審査会は、委員五人以内で組織する。

- 者として、 委員は、 省令第三条第一項に規定する児童生徒性暴力等に関する学識経験を有する 次の各号のいずれかに該当する者のうちから教育委員会が任命する。
- 医療、 心理、 福祉又は法律に関する専門的な知識及び経験を有する者
- 一 その他教育委員会が適当と認める者

(会議)

第三条 審査会の会議は、会長が招集する。

- 2 委員は、自己の利害に関係する議事に参与することができない
- 3 審査会の会議は、公開しない。

(委員以外の者の出席)

第四条 会長は、 必要があると認めるときは、 会議に関係者の出席を求め、 その意見を

聴くことができる。

(秘密の保持)

第五条 委員は、 職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。 その職を退い た後も同様

とする。

(庶務)

第六条 審査会の 庶務は、 教育委員会事務局におい て処理する。

(雑則)

第七条 この 規則に定めるもの \mathcal{O} ぼ か、 審査会の運営に関し必要な事項は、 会長が審査

会に諮って定める。

この規則は、令和七年四月一日から施行する。附則